

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：中国地方整備局 道路部 地域道路課
 担当課長名：山田周一

事業名	主要地方道 <small>やのやすうらせん</small> 矢野安浦線	事業区分	地方道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県安芸郡熊野町萩原 至：広島県賀茂郡黒瀬町津江	延長			2.8 km

事業概要

主要地方道矢野安浦線は、広島市安芸区から豊田郡安浦町を結ぶ延長約2.2kmの主要な幹線道路であり、一次改築は完了済みである。当該区間は、特に線形が悪く縦断が急勾配な区間（延長2.8km）について、新規事業化して整備を行うものである。

事業の目的、必要性

高規格幹線道路「東広島・呉自動車道」黒瀬IC（仮称）の完成に伴う交通量の増加対策を図るとともに、熊野町内における交通混雑の緩和及び安全対策に、大きく寄与するものである。

全体事業費	120億円		計画交通量	14,000台/日		
費用対効果分析結果	B/C	2.0	総費用	102億円	総便益	206億円
			事業費	100億円	基準年	平成15年
			維持管理費	2億円	走行時間短縮便益	194億円
					走行費用減少便益	9億円
					交通事故減少便益	3億円

感度分析の結果

交通量変動：B/C=2.2（交通量+10%） B/C=1.8（交通量-10%）
 事業費変動：B/C=1.9（事業費+10%） B/C=2.1（事業費-10%）
 事業期間変動：B/C=1.9（事業期間+20%） B/C=2.1（事業期間-20%）

事業の効果等

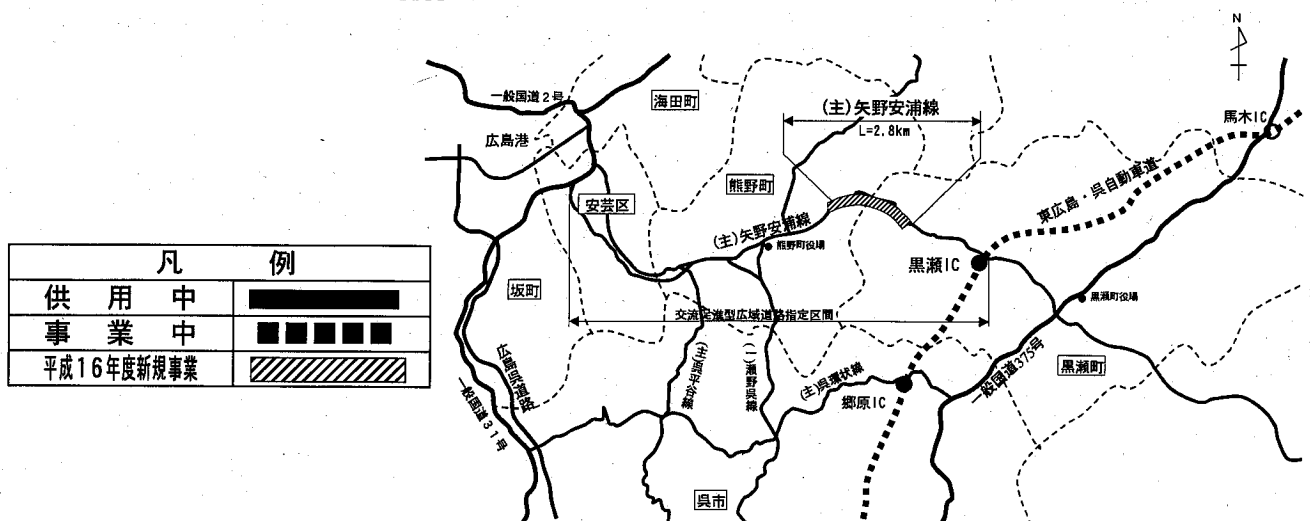
- ・物流効率化の支援（特定重要港湾広島港へのアクセス向上が見込まれる。）
- ・国土・地域ネットワークの構築（黒瀬町から日常生活圏中心都市（広島市）へのアクセス向上が見込まれる。）
- ・災害への備え（「緊急輸送道路ネットワーク計画」への位置付け有り）

他4項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

熊野町をはじめとする関係1市7町の首長及び議会議長をもって構成する「県道矢野安浦線整備促進協議会」より早期整備の要望（平成15年8月19日）がある。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。